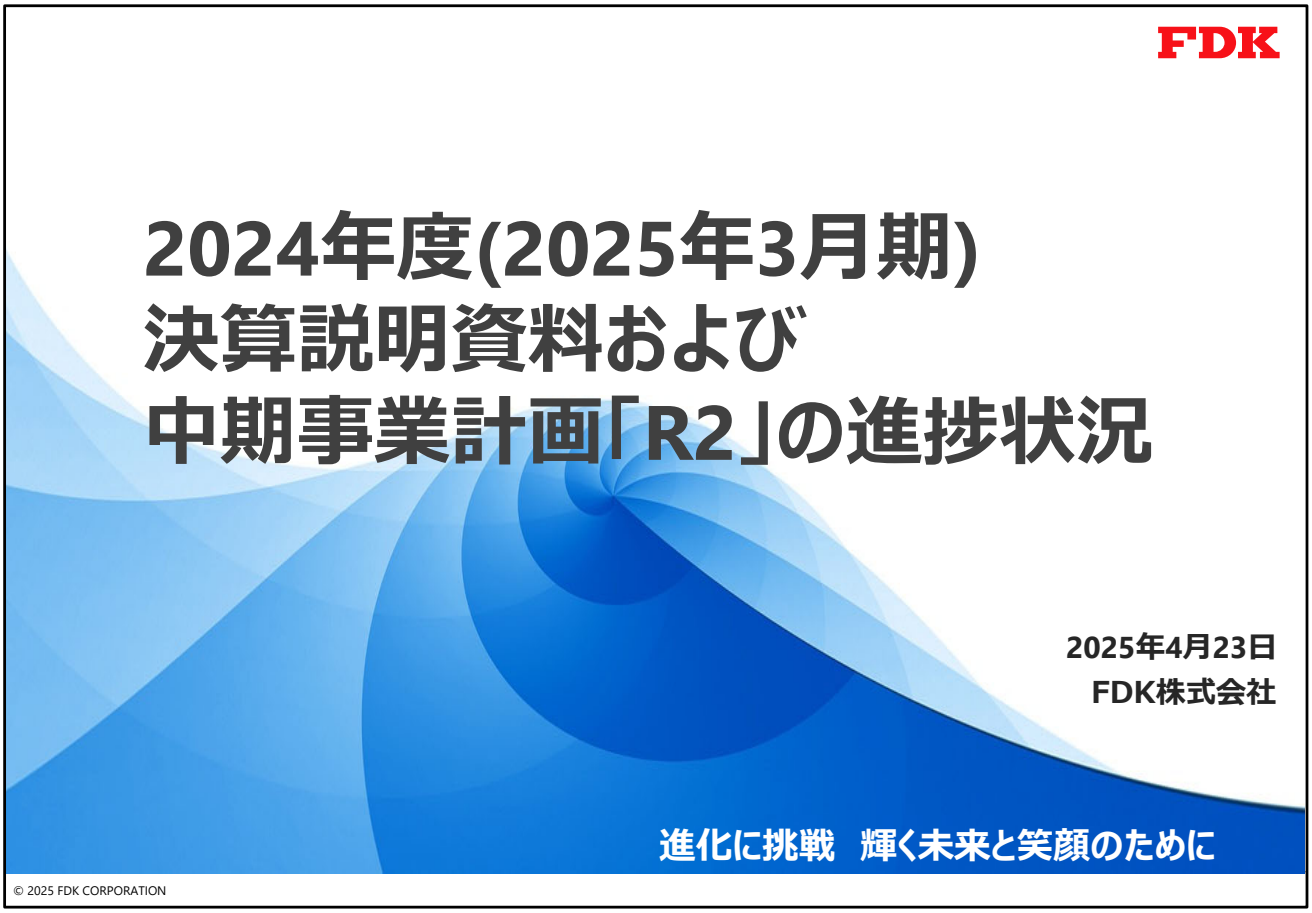


2024年度決算概要および中期事業計画「R2」の進捗について、ご説明いたします。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

目次

1. 2024年度の業績
   - 連結決算のポイント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
   - 2024年度連結決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
   - 営業利益変動要因(前年度比) ・・・・・・・・・・・・ 5
   - 連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
   - セグメント別情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2. 2025年度(通期)見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
3. 参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
4. 中期事業計画「R2」の進捗状況 ・・・・・・・・・・・・ 14
5. トピックス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

© 2025 FDK CORPORATION

今回ご説明させていただく内容です。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

連結決算のポイント

FDK

■ 連結全体

売上高：631.7億円(前年度比：+4.9億円、+0.8%)

電子事業のスイッチング電源などで減収も、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収、さらに円安効果も加わった

営業利益：13.9億円(前年度比：+8.2億円、+145.3%)

電池事業で原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果も加わった

経常利益：12.6億円(前年度比：+5.4億円、+75.1%)

営業利益の増加に加え、為替差益を中心とした営業外損益の好転により増益

当期純利益：5.3億円(前年度比：+4.1億円、+344.6%)

経常利益の増加により増益

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年度比：+12.2億円、+2.6%

・ニッケル水素電池は国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収

・設備関連ビジネスは自動車関連設備が堅調で増収

電子事業：売上高 前年度比：△7.3億円、△4.9%

スイッチング電源で半導体装置用途向けやトナーが減少したことにより減収

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、決算のポイントです。

■連結全体の売上高は、電子事業のスイッチング電源などで減収も、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の営業利益は、電池事業で原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の経常利益は、営業利益の増加に加え、為替差益を中心とした営業外損益の好転により増益となりました。

連結全体の当期純利益は、経常利益の増加により増益となりました。

■セグメント別では電池事業は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で堅調など増収となり、セグメント全体で前年度比2.6%増となりました。

電子事業は、スイッチング電源で半導体装置用途向けが減収、トナーが減収となり、セグメント全体で前年度比4.9%減となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

2024年度連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	前年度比	
				増減率
売上高	626.7	631.7	+4.9	+0.8%
営業利益 (営業利益率)	5.6 (0.9%)	13.9 (2.2%)	+8.2 (+1.3pt)	+145.3%
経常利益 (経常利益率)	7.2 (1.1%)	12.6 (2.0%)	+5.4 (+0.9pt)	+75.1%
当期純利益※ (当期純利益率)	1.2 (0.2%)	5.3 (0.8%)	+4.1 (+0.6pt)	+344.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	3.50円	15.55円	+12.05円

為替レート	(円/1USD)	143.82円	152.75円	+8.93円
	(円/1EUR)	156.24円	163.76円	+7.52円

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、連結決算概要です。

■電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けでの増加やBAOTOU FDK CO., LTD.の売上高も加わったこと、設備関連ビジネスが増加したこと、さらに円安効果も加わったことにより、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーが減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年度と比べ4.9億円増加の631.7億円となりました。

■営業利益は、電池事業は原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果が加わりました。電子事業は売上減により、減益となりました。この結果、営業利益は前年度と比べ8.2億円増加の13.9億円となりました。

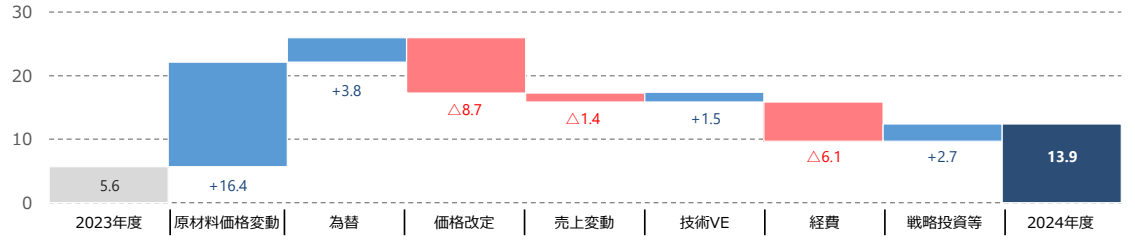
■経常利益は、前年度と比べ5.4億円増加の12.6億円となりました。

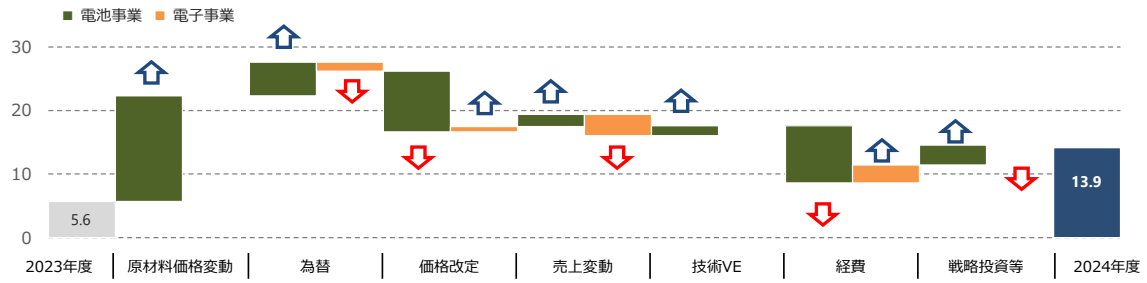
■当期純利益は、前年度と比べ4.1億円増加の5.3億円となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

営業利益変動要因(前年度比)

(単位：億円)	2023年度	2024年度	前年度比	
				増減率
営業利益(営業利益率)	5.6(0.9%)	13.9(2.2%)	+8.2(+1.3pt)	+145.3%





© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、営業利益の変動要因です。

■全体の営業利益は、原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンによる増益に加え、為替の好転影響がありました。

　価格改定影響や経費増加による減益がありましたが、前年度と比べ8.2億円増加の13.9億円となりました。

■それぞれの要因が各事業に与えた影響としましては、電池事業では価格改定影響と経費が減益要因で原材料価格の変動、為替や売上増は好転要因となりました。電子事業では経費による好転要因がありましたが、売上減と為替が減益要因となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

連結貸借対照表

(単位：億円)

科 目	2023年度	2024年度	増減	科 目	2023年度	2024年度	増減
流動資産	365.9	317.3	△48.5	**流動負債**	342.1	288.7	△53.3
(受取手形及び売掛金)	(161.4)	(135.3)	(△26.1)	(支払手形及び買掛金)	(108.7)	(78.1)	(△30.6)
(電子記録債権)	(17.1)	(4.0)	(△13.1)	(電子記録債務)	(43.2)	(25.5)	(△17.6)
(仕掛品)	(34.3)	(30.6)	(△3.7)	(短期借入金)	(144.7)	(145.5)	(+0.7)
(原材料及び貯蔵品)	(55.9)	(48.5)	(△7.4)	(リース債務)	(0.4)	(0.4)	(+0.0)
固定資産	149.6	146.0	△3.5	**固定負債**	16.9	10.4	△6.4
(有形固定資産)	(141.5)	(138.8)	(△2.7)	(リース債務)	(0.4)	(1.1)	(+0.7)
				(退職給付に係る負債)	(7.1)	(0.4)	(△6.6)
				負債合計	**359.1**	**299.2**	**△59.8**
				株主資本	128.8	134.2	+5.3
				(利益剰余金)	(△449.9)	(△444.5)	(+5.3)
				その他の包括利益累計額	26.5	28.7	+2.2
				(為替換算調整勘定)	(27.5)	(24.8)	(△2.7)
				(退職給付に係る調整累計額)	(△1.6)	(3.5)	(+5.1)
				純資産合計	**156.4**	**164.1**	**+7.6**
資産合計	**515.5**	**463.4**	**△52.1**	**負債純資産合計**	**515.5**	**463.4**	**△52.1**

自己資本比率	30.1%	35.2%	+5.1pt	有利子負債残高	145.5	147.0	+1.5
ROIC※	0.1%	3.3%	+3.2pt				

※ROIC=税引後営業利益/(自己資本+有利子負債)

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、連結貸借対照表です。

■流動資産は、前年度と比べ48.5億円減少の317.3億円となりました。流動資産減少の主な要因は、連結子会社で売掛金回収が進んだことや早期資金化の実施などにより受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少したことに加え、仕掛品や原材料及び貯蔵品などの棚卸資産が減少したことによるものです。

■固定資産は、前年度と比べ3.5億円減少の146.0億円となりました。固定資産減少の主な要因は、各種モジュールで一部機種生産終了に伴なう固定資産処分などにより有形固定資産が減少したことによるものです。

■流動負債は、前年度と比べ53.3億円減少の288.7億円となりました。流動負債減少の主な要因は、下請代金の支払サイトの短縮などにより短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことによるものです。

■固定負債は、前年度と比べ6.4億円減少の10.4億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

■純資産合計は、前年度と比べ7.6億円増加の164.1億円となりました。純資産増加の主な要因は、為替換算調整勘定が減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が5.3億円、退職給付に係る調整累計額が5.1億円、それぞれ増加したことによるものです。

■有利子負債残高は、主にリース債務や借入金の増加により前年度と比べ1.5億円増加の147.0億円となりました。

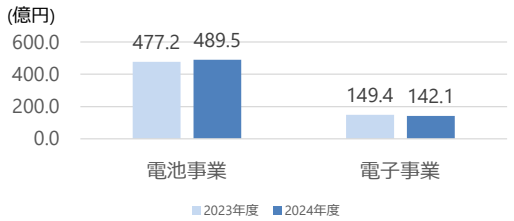
■ROICは、前年度と比べ3.2pt増の3.3%となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

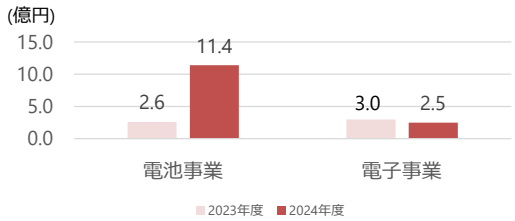
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



(単位：億円)

		2023年度	2024年度	前年度比	
					増減率
電池事業	売上高	477.2	489.5	+12.2	+2.6%
	セグメント利益 (率)	2.6 (0.6%)	11.4 (2.3%)	+8.8 (+1.7pt)	+335.9%
電子事業	売上高	149.4	142.1	△7.3	△4.9%
	セグメント利益 (率)	3.0 (2.1%)	2.5 (1.8%)	△0.5 (△0.3pt)	△17.9%
合計	売上高	626.7	631.7	+4.9	+0.8%
	営業利益 (率)	5.6 (0.9%)	13.9 (2.2%)	+8.2 (+1.3pt)	+145.3%

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の情報です。

■電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増加、設備関連ビジネスが自動車関連設備で増加したことにより、前年度と比べ12.2億円増加の489.5億円、セグメント利益は原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果も加わり、前年度と比べ8.8億円増加の11.4億円となりました。

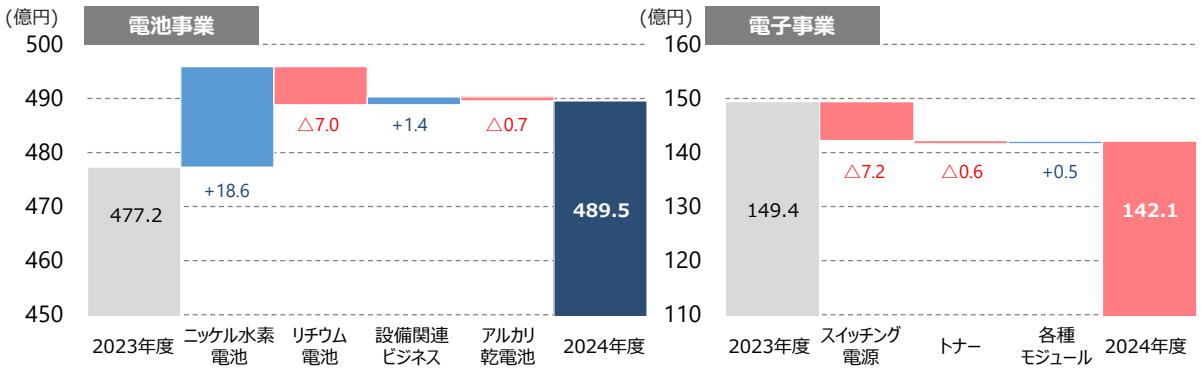
■電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーの売上減により、前年度と比べ7.3億円減少の142.1億円、セグメント利益は前年度と比べ0.5億円減少の2.5億円となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

セグメント別情報(売上概況)

(単位：億円)

		2023年度	2024年度	前年度比	増減率
電池事業	売上高	477.2	489.5	+12.2	+2.6%
	セグメント利益(率)	2.6(0.6%)	11.4(2.3%)	+8.8(+1.7pt)	+335.9%
電子事業	売上高	149.4	142.1	△7.3	△4.9%
	セグメント利益(率)	3.0(2.1%)	2.5(1.8%)	△0.5(△0.3pt)	△17.9%
合計	売上高	626.7	631.7	+4.9	+0.8%
	営業利益(率)	5.6(0.9%)	13.9(2.2%)	+8.2(+1.3pt)	+145.3%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

■ニッケル水素電池は、国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加したこと、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わったことにより、前年度を上回りました。

■リチウム電池は、海外のセキュリティ、スマートメータ用途向けが減少したことにより、前年度を下回りました。

■設備関連ビジネスは、自動車関連設備が増加したことにより、前年度を上回りました。

続いて、電子事業については、

■スイッチング電源は、半導体装置用途向けが減少したことにより、前年度を下回りました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

2025年度(通期)見通し

(単位：億円)

	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	631.7	600.0	△31.7	△5.0%
営業利益 (営業利益率)	13.9 (2.2%)	14.0 (2.3%)	+0.0 (+0.1pt)	+0.4%
経常利益 (経常利益率)	12.6 (2.0%)	13.0 (2.2%)	+0.3 (+0.2pt)	+3.1%
当期純利益※ (当期純利益率)	5.3 (0.8%)	6.0 (1.0%)	+0.6 (+0.2pt)	+11.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	15.55円	17.39円	+1.84円

為替レート	(円/1USD)	152.75円	142.50円	△10.25円
	(円/1EUR)	163.76円	152.50円	△11.26円

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、2025年度の見通しです。

■売上高は、600億円で31.7億円の減収。

■営業利益は、14億円、経常利益は13億円、純利益は6億円の見通しです。

■為替レートは、1USドル＝142.50円、1ユーロ＝152.50円を想定しております。

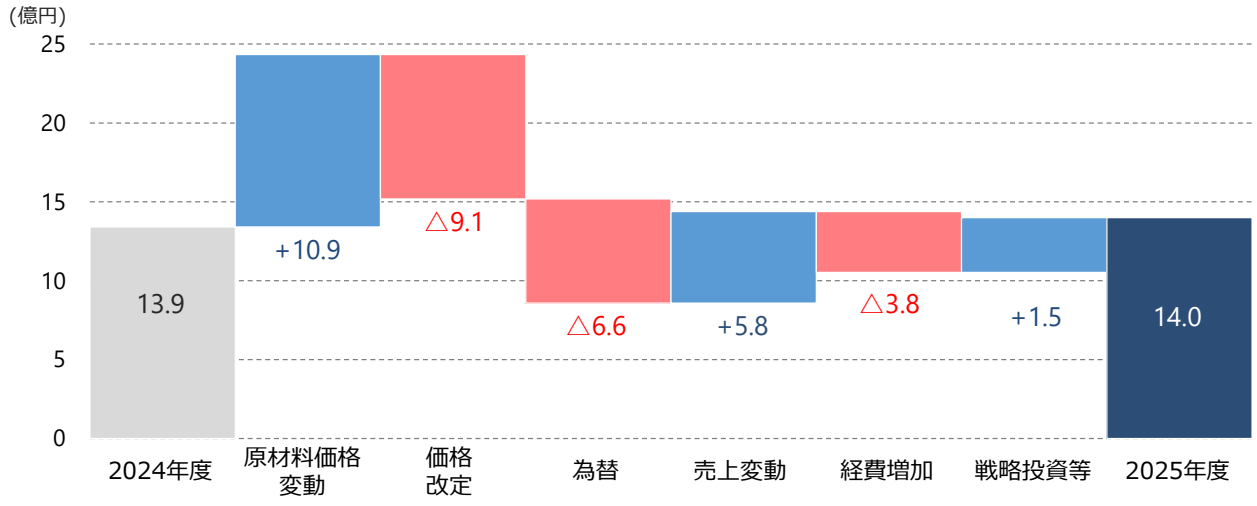
次期は為替変動や電子事業の各種モジュールでの選択と集中による一部機種生産終了などで減収となりますが、電池事業で付加価値の高い機種での売上増により増益を見込んでおります。

なお、米国の相互関税による影響ならびに中国のレアアース輸出規制による影響等を精査中のため、上記数値に当該影響を織り込んでおりません。当該影響の詳細が判明し次第、速やかにお知らせいたします。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

営業利益変動要因(前年度比)

	2024年度	2025年度	前年度比	
				増減率
営業利益 (営業利益率)	13.9 (2.2%)	14.0 (2.3%)	+0.0 (+0.1pt)	+0.4%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

■2025年度も物価上昇、労務費の上昇など厳しい事業環境が継続する見込みでありますが、これらの課題に対して当社グループは、販売価格の見直しや新規ビジネスの獲得、深耕開拓に加えて、技術VEによるコスト削減、徹底的な経費削減などに取り組んでまいります。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

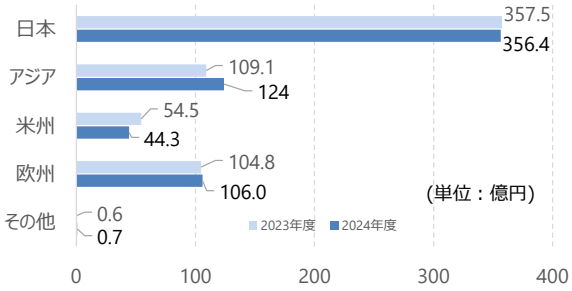
参考資料

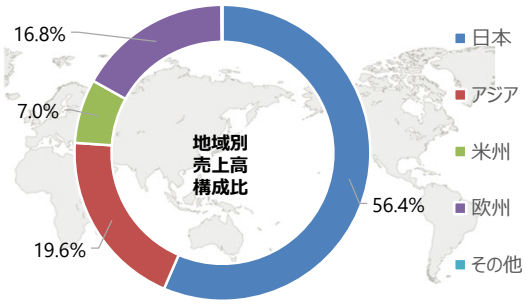
© 2025 FDK CORPORATION

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

地域別売上高

(単位：億円)	2023年度		2024年度		前年度比	
						増減率
日本	357.5	57.1%	356.4	56.4%	△1.1	△0.3%
アジア	109.1	17.4%	124.0	19.6%	+14.9	+13.7%
米州	54.5	8.7%	44.3	7.0%	△10.2	△18.7%
欧州	104.8	16.7%	106.0	16.8%	+1.2	+1.2%
その他	0.6	0.1%	0.7	0.1%	+0.1	+21.0%
合計	626.7	100%	631.7	100%	+4.9	+0.8%
海外売上高比率	42.9%		43.6%			





※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)	2023年度	2024年度	前年度比
営業活動によるキャッシュ・フロー	16.2	37.7	+21.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25.3	△28.2	△2.9
フリー・キャッシュ・フロー	△9.1	9.4	+18.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	18.1	0.2	△17.8
現金及び現金同等物の期末残高	37.1	46.0	+8.8

設備投資	22.1	25.4	+3.3
減価償却費	24.0	23.0	△1.0

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

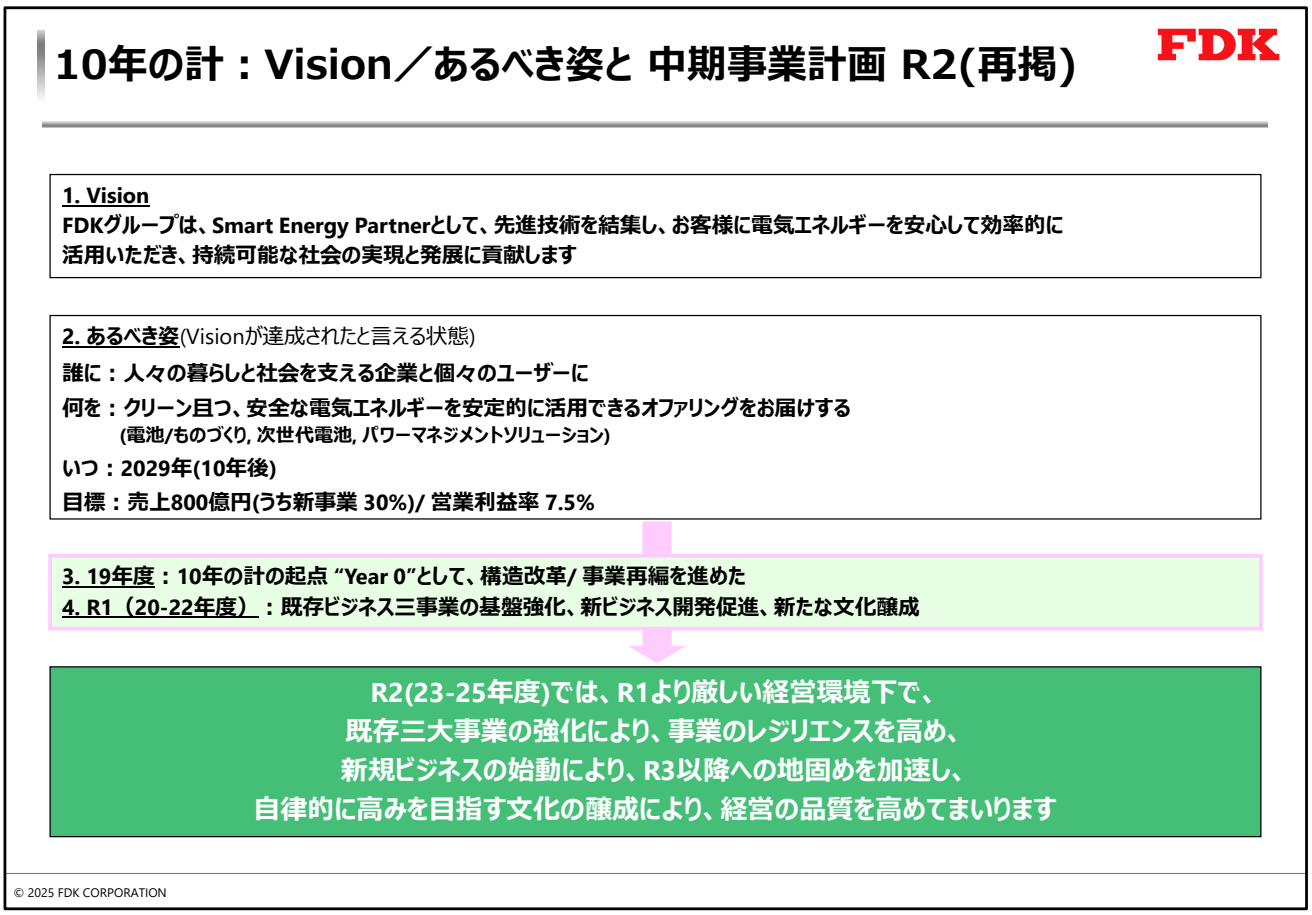
Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

中期事業計画「R2」の進捗状況

© 2025 FDK CORPORATION

ここからは、中期事業計画「R2」の進捗について、ご説明いたします。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved



次に、2023年4月にスタートした中期事業計画「R2」のVision、およびあるべき姿です。

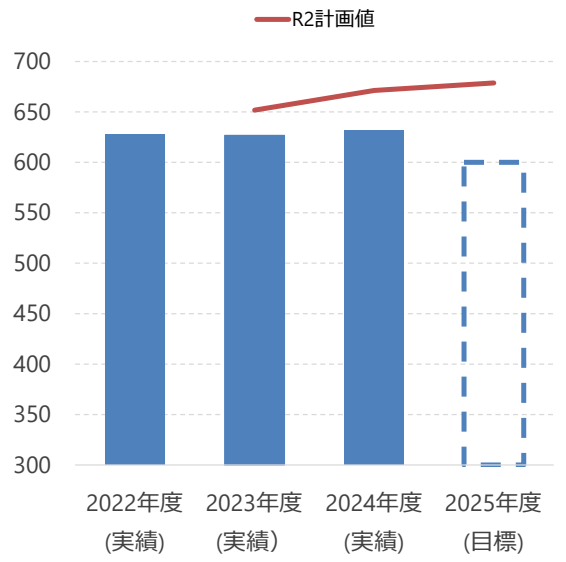
■中期事業計画「R2」は、R1より厳しい経営環境下で、既存三大事業の強化により、事業のレジリエンスを高め、新規ビジネスの始動により、R3以降への地固めを加速し、自律的に高みを目指す文化の醸成により、経営の品質を高めてまいります。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

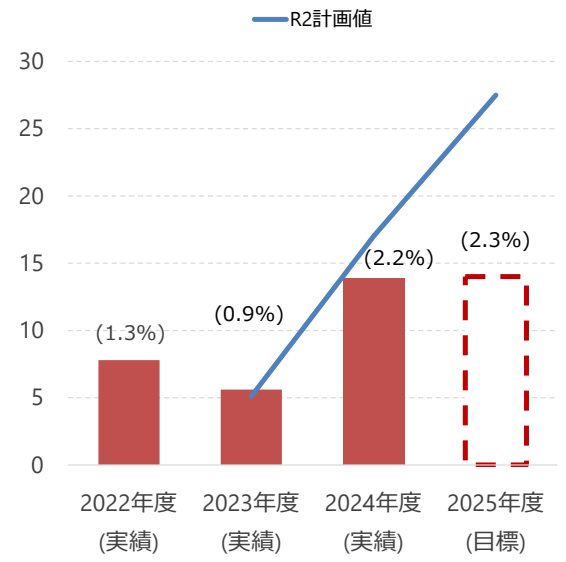
中期事業計画「R2」の進捗状況

FDK

売上高



営業利益



© 2025 FDK CORPORATION

中期事業計画「R2」の進捗状況です。

■2023年度実績は、売上高626億円、営業利益5億円となりました。

2024年度実績は、売上高631億円、営業利益13億円となりました。

最終年度である2025年度は、売上高600億円、営業利益率2.3%を予想しております。

中期事業計画の最終年度である次年度は、連結売上高680億円、営業利益率4.1%（28億円）を目標に掲げておりますが、現時点での次年度の見通しは大きく下回る見通しであり、当社グループは、販売価格の見直しや新規ビジネスの獲得、深耕開拓に加えて、技術VEによるコスト削減、徹底的な経費削減などにより、営業利益見通しと中期事業計画目標値との差異縮小に取り組んでまいります。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

中期計画「R2」の三本柱の進捗状況

FDK

1) 主力ビジネスの利益ある成長を加速

製　品	テーマ	進捗状況
ニッケル水素電池	売上拡大、利益改善、高付加価値モデル占有率拡大、コスト競争力の強化	売上高の拡大について、2024年度については計画値から下回っているものの、車載用途を中心に増加中。引き続き、計画値達成に向けて取り組みを強化する。損益面は高付加価値モデルの拡大や高価な材料の不使用化などにより利益改善を見込む。また、生産拠点の最適化を進めていく
リチウム電池	売上拡大、利益改善、メータ通信・産業・医療市場の拡大	高容量モデルの開発と量産に向けた取り組みを継続。工場内の再配置による生産性改善完了。自動化・DX/AIによる業務効率改善と原価低減活動を継続
電子事業/PMS	既存顧客の深耕、新規顧客開拓、全固体電池・パワーソリューションとの連携	既存顧客向け新モデルの継続受注、新規顧客向けの拡販活動に加えて、Bluetooth® Low Energyモジュールの拡販継続。他社との協業を通じたコストダウンに取り組む *：Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です
エンジニアリング	継続的な利益創出、設備構想力のさらなる向上	自動車関連向け設備の集中受注により売上が一時的に増加。今後、新規顧客向けの拡販活動強化により既存顧客設備と合わせて事業拡大を図る
アルカリ乾電池	売上拡大、利益改善	性能改良品・環境負荷低減パッケージの開発、新規プライベートブランドアルカリ乾電池のビジネス開拓継続。材料コストダウンや自動化・仕様統一による原価低減活動を継続

2) 新規ビジネスの始動と開拓

製　品	テーマ	進捗状況
全固体電池	事業の始動、市場開拓、社内連携強化	現行仕様品のサンプル供給とともに、汎用性の高い製品(充電特性向上、高容量化)の開発にリソースを集中する
ニッケル亜鉛	特性・品質改善、仕様確立と量産開始	サンプル出荷の拡大とともに、実用化に向けた開発継続、コストダウンに加えて、顧客の実需要の精査の継続、社内体制を構築
パワーソリューション	特定プロジェクトの推進と要素技術開発	試作機のパフォーマンス評価/検証と要素技術のブラッシュアップ開発を継続。パートナーシップを構築しつつ試作・開発機をベースとした共同開発の推進とサービス手段としてクラウド技術の検討を開始

© 2025 FDK CORPORATION

ここでは、中期事業計画「R2」における事業別ポートフォリオの進捗状況につきご説明いたします。

まずは、主力ビジネスの利益ある成長を加速についてです。

■ニッケル水素電池は、売上高の拡大について、2024年度については計画値から下回っているものの、車載用途を中心に増加中。引き続き、計画値達成に向けて取り組みを強化する。損益面は高付加価値モデルの拡大や高価な材料の不使用化などにより利益改善を見込む。また、生産拠点の最適化を進めていきます。

■リチウム電池は、高容量モデルの開発と量産に向けた取り組みを継続。工場内の再配置による生産性改善完了。自動化・DX/AIによる業務効率改善と原価低減活動を継続します。

■電子事業/PMSは、既存顧客向け新モデルの継続受注、新規顧客向けの拡販活動に加えて、Bluetooth® Low Energyモジュールの拡販継続。他社との協業を通じたコストダウンに取り組みます。

■エンジニアリング(設備関連ビジネス)は、自動車関連向け設備の集中受注により売上が一時的に増加。今後、新規顧客向けの拡販活動強化により既存顧客設備と合わせて事業拡大を図ります。

■アルカリ乾電池は、性能改良品・環境負荷低減パッケージの開発、新規プライベートブランドアルカリ乾電池のビジネス開拓継続。材料コストダウンや自動化・仕様統一による原価低減活動を継続します。

次に、新規ビジネスの始動と開拓についてです。

■全固体電池は、現行仕様品のサンプル供給とともに、汎用性の高い製品(充電特性向上、高容量化)の開発にリソースを集中しています。

■ニッケル亜鉛電池は、サンプル出荷の拡大とともに、実用化に向けた開発継続、コストダウンに加えて、顧客の実需要の精査の継続、社内体制を構築しました。

■パワーソリューションは、試作機のパフォーマンス評価/検証と要素技術のブラッシュアップ開発を継続。パートナーシップを構築しつつ試作・開発機をベースとした共同開発の推進とサービス手段としてクラウド技術の検討を開始しました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

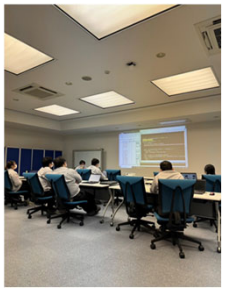
中期計画「R2」の三本柱の進捗状況

FDK

3）認め合い・高め合う文化の醸成

人的資本経営のKPI選定およびPDCAの運用開始、360度評価制度の開始、健康経営優良法人に2年連続で認定、統合報告書の発行、新たな製品・サービス・ビジネスアイデア創出から事業化までの支援を行う体制整備、従業員満足度調査実施と改善活動の継続、「道場」・e-Learningの充実、語学留学の継続、自己啓発カリキュラムの充実、通信教育、英会話の会社費用負担の拡大、サンクスポイントの浸透で褒め合う文化の醸成、カオナビ活用により認め合う文化の醸成の取り組みを継続、全社DXプロジェクトによるIT人材の育成を開始

各「道場」の活動風景



© 2025 FDK CORPORATION

続いて、3つ目の認め合う・高め合う文化の醸成の進捗です。

■2024年度においては、人的資本経営のKPI選定およびPDCAの運用開始、360度評価制度の開始、健康経営優良法人に2年連続で認定、統合報告書の発行、新たな製品・サービス・ビジネスアイデア創出から事業化までの支援を行う体制整備、従業員満足度調査実施と改善活動の継続、「道場」・e-Learningの充実、語学留学の継続、自己啓発カリキュラムの充実、通信教育、英会話の会社費用負担の拡大、サンクスポイントの浸透で褒め合う文化の醸成、カオナビ活用により認め合う文化の醸成の取り組みを継続、全社DXプロジェクトによるIT人材の育成を開始しました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

トピックス

1) 日本セラミックス協会2025年年会でLiALSiO4基軸の安価な固体電解質の作製を発表

当社は、SMD小型全固体電池の高価なGeを含まない新たな固体電解質の検討を開始しており、2025年3月6日に開催された日本セラミックス協会2025年年会において、LiAlSiO4基軸の安価な固体電解質の作製を発表しました

2) 「健康経営優良法人」に2年連続で認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025」に認定されました。
健康経営優良法人には、2024年に続き2年連続の認定となりました

3) SILITECH TECHNOLOGY CORPORATIONによる当社株式に対する公開買付けにより同社が当社の筆頭株主となりました

当社は、台湾証券取引所に上場するSILITECH TECHNOLOGY CORPORATIONが実施した当社株式に対する公開買付けの結果、2025年3月21日付で同社の持分法適用会社となり、同社が当社の筆頭株主となりました

© 2025 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

■当社は、SMD小型全固体電池の高価なGeを含まない新たな固体電解質の検討を開始しており、2025年3月6日に開催された日本セラミックス協会2025年年会において、LiAlSiO4基軸の安価な固体電解質の作製を発表しました。

■当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025」に認定されました。健康経営優良法人には、2024年に続き2年連続の認定となりました。

■当社は、台湾証券取引所に上場するSILITECH TECHNOLOGY CORPORATIONが実施した当社株式に対する公開買付けの結果、2025年3月21日付で同社の持分法適用会社となり、同社が当社の筆頭株主となりました。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved

FDK

確かな技術　育てる未来

Copyright 2025 FDK CORPORATION All right reserved